

じゅうもんじがくえんじょしだいがく
十文字学園女子大学

1 講座名・定員など

(1) 授業科目

科目名	担当教員	実施時期	曜日	時限	定員	授業時間
芸術を読みとる	森 暁子	前期	月	1	若干名	1限 9:00~10:30 2限 10:40~12:10 3限 13:00~14:30 4限 14:40~16:10 5限 16:20~17:50
日本文学論B	小林 実		月	3		
日本語学入門	星野 祐子		月	3		
日本語学A	星野 祐子		月	4		
地域コミュニティ論	大友 由紀子		月	4		
恋愛と結婚の科学	山下 倫実		火	2		
現代家族論	大友 由紀子		火	4		
文化と心理学	笹倉 尚子		水	2		
日本と異文化	小林 実		水	2		
健康食育論	徳野 裕子		木	2		
みんなの実践食事学 ～食べる力を養うプロの技～	國井 大輔		木	2		
グループダイナミクス	風間 文明		金	2		
児童学概論	藪崎 伸一郎 他		土	1		

※上記時間割は令和7年12月2日現在のものです。

今後、急な時間割変更が発生する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※各科目とも授業は15回の予定です。

※授業は4月9日（木）から開始しますが、一部変則的な取り扱いがあります。

※授業は原則として対面で開催しますが、学内の感染状況が悪化した場合は、オンライン授業に切り替える可能性があります。

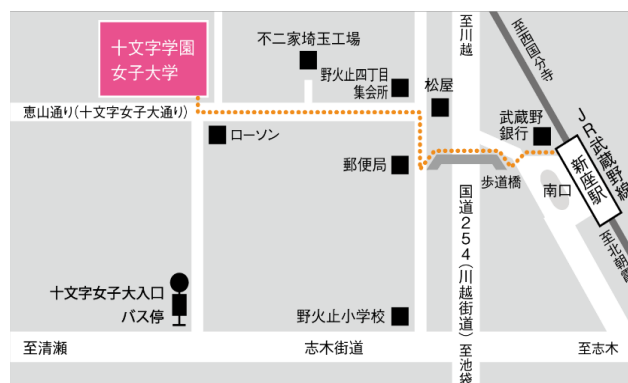
(2) 場所

十文字学園女子大学

〒352-8510 新座市菅沢2-1-28

[アクセス方法]

- JR 武蔵野線「新座駅」下車、徒歩8分
- 東武東上線「志木駅」下車、「清瀬駅北口」行きバスで「十文字女子大入口」下車、徒歩5分
- 西武池袋線「清瀬駅」下車、「志木駅南口」行きバスで「十文字女子大入口」下車、徒歩5分



※駐車場のご用意が出来ませんので、公共の交通機関でのご来校をお願いいたします。

2 受講料等

- (1) 受講料 1科目(半期)につき10,000円
 - (2) その他 教科書等の教材は自己負担によりご用意いただきます。
(教科書については第1回目の授業で担当教員から説明があります)
- ※受講料は、説明会時にクレジットカード・ICカードによる電子決済でのお支払いとなります。
- ※一旦納入された受講料につきましては、お返しすることができませんので、あらかじめご了承ください。

3 受講の申込み

- (1) 申込期限 令和8年3月6日(金)(消印有効)

- (2) 申込先

〒352-8510 埼玉県新座市菅沢2-1-28

十文字学園女子大学 社会連携推進課

電話:048-477-0958(直通)

- (3) 申込方法

官製はがきに以下の事項を**もれなく**記入の上、郵送でお申込みください。

- (1) 「大学の開放授業講座 受講申込」と明記
- (2) 氏名・ふりがな
- (3) 年齢(令和8年4月1日現在)
- (4) 性別(男性も受講可)
- (5) 電話番号
- (6) 郵便番号・住所
- (7) 受講希望科目・担当教員名(何科目でも可)

※申込後に、都合により受講できなくなった場合はお早めにご連絡ください。

- (4) 選抜方法

定員を超える場合または多数の申込みがあった場合には、抽選により受講者を決定します。(受講の可否、受講決定科目は3月下旬を目途に申込者全員にお知らせします)

- (5) その他

本学が示す感染防止対策にご協力をお願いします。

4 各授業科目の概要及び担当教員

<p>芸術を読みとる (森 暁子 講師)</p>	<p>変体仮名（くずし字）の資料を、端正な手書きの文字から子供向けに出版された絵本まで広く取り上げ、読み解いていきます。今まで変体仮名に触れたことのない人でも、文脈や挿絵などを手掛かりにして、なんとなく当たりをつけて読むことができるようになることを目指します。テキストは『変体仮名の手引〔改訂増補〕』（中野幸一編、武蔵野書院）を使います。</p>
<p>日本文学論B (小林 実 教授)</p>	<p>作家・三島由紀夫のナビゲーションで、“文学作品”の読み方を学びましょう。西洋文法を手本にして、近代日本語の文体は整えられましたが、そのためか、文壇の名作は必ずしも読みやすいものにはなりません。そもそも韻文と散文の区別もあいまいなままですし。そうした近代日本文学の特徴を“文章”の側面から考察してまいります。【テキスト】三島由紀夫『文章読本』中公文庫</p>
<p>日本語学入門 (星野 祐子 教授)</p>	<p>私たちにとって日本語は無意識的な存在。その無意識的な日本語に対し意識的になることがこの講義の目的です。講義では、音声・語彙・文法・方言などの観点から、日本語に関わる興味深い話題を取り上げます。日本語の奥深さを実感できるはず。テキストは『やさしい日本語のしくみ』（庵功雄他著、くろしお出版）を使います。</p>
<p>日本語学A (星野 祐子 教授)</p>	<p>日本語の成立について通時的に観察し、ことばの変化とその要因を探ります。また、現代語から切り離された過去の言語活動として古いことばを扱うのではなく、今の日本語への影響やその残存を意識しながら、日本語の成立を捉えていきます。テキストは『日本語の歴史』（山口仲美著 岩波新書 2006年）を使用します。</p>
<p>地域コミュニティ論 (大友 由紀子 教授)</p>	<p>農業や中心商店街の衰退により、町内会・自治会に代表される地域活動が停滞するなか、防災・防犯、福祉、教育、環境等における「地域」への関心が高まっています。農村社会学、都市社会学、地域社会学で議論されてきたコミュニティ論の基本を学び、そこでの概念を用いて、都市と農山漁村における固有の問題、持続可能な地域コミュニティづくりにむけた課題を検討します。</p>
<p>恋愛と結婚の科学 (山下 倫実 教授)</p>	<p>親密な異性関係（恋愛関係・夫婦関係）は人にとって極めて重要な関係です。本科目は、社会心理学の分野で明らかになっている恋愛関係に関する科学的なデータを示し、恋の始まりから終わりまでについて解説します。また、近年の結婚に対する価値観や生活環境の変化によって影響を受ける夫婦関係についても取りあげます。</p>
<p>現代家族論 (大友 由紀子 教授)</p>	<p>現代社会における家族と家族関係のあり方を社会学の視点から読み解きます。家族とは何か、どのように分析するのかという基本を押さえた上で、家族のかたちや結婚や出産にみる家族形成の変化、家事・育児や老親扶養における家族役割の変化と社会的支援のあり方について、社会調査データから客観的に考察する力を養います。</p>

<p>文化と心理学 (笹倉 尚子 准教授)</p>	<p>文化は人の心を映す鏡であると言われます。本授業では現代文化、とりわけ日本の若者文化（ゲーム、アニメ、漫画、小説、インターネット、推し活等）を題材に、臨床心理学の視点からそれらが心に与える影響を読み解くことを通して、豊かな想像力や幅広い思考力を身につけることを目指します。【参考図書(必須ではありません)】『サブカルチャーのこころ』木立の文庫</p>
<p>日本と異文化 (小林 実 教授)</p>	<p>日本列島を、東アジア地域の一部としてみることで、どんな「日本」の姿が見えてくるのか。漢字、仏教、学問、お茶、空海さまに平清盛、なぜ足利義満は僧形なのか、倭寇とキリスト教伝来の関係など、対外交渉を軸にしたテーマで、古代から江戸時代までの日本の歴史をふり返ってまいります。テキスト不要。</p>
<p>健康食育論 (徳野 裕子 准教授)</p>	<p>最近では想定外の自然環境も加わり、感染症と非感染症が存在する社会で健康で平凡な生活の大切さを痛感します。食育基本法が2005年に施行され、2024年はウェルビーイング元年といわれました。日々満たされた健幸を維持・増進するための食育とはどのようなことなのか、女性の健幸に関連する要因と、今置かれている環境を踏まえながら考えていきたいと思えます。</p>
<p>みんなの実践食事学 ～食べる力を養うプロの技～ (國井 大輔 特任教授)</p>	<p>生涯にわたり続く「食べる」行為について、自身の健康状態や目標に応じた「食べる力」を実践的に身につけることを目的とします。8,000人以上へのメタボ指導経験から、従来の食教育だけでは情報を活かすきれない課題を踏まえ、座学に偏らない食体験重視の「食育リスクリング」として、主体的に食を選ぶ力を養います。テキスト不要。</p>
<p>グループダイナミクス (風間 文明 教授)</p>	<p>グループダイナミクスとは、集団および集団成員の行動に関する法則性を明らかにしようとする社会科学の1分野です。本講座では、集団内での人間行動に関する心理学的知見を平易に解説します。具体的には、集団の形成、集団規範への同調と逸脱、集団合議による意志決定、リーダーシップなどの問題を取り上げる予定です。</p>
<p>児童学概論 (藪崎 伸一郎 准教授 他)</p>	<p>少子化が進む中、身近に子どもの姿を感じられる機会も減少しつつあります。その一方で、「子ども」の育ち、幼児教育は様々な国で重要視されています。乳幼児期における様々な経験が、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものとしてつながることを、幼児教育学科専任教員が各自の専門領域から取り上げ、捉えていきます。テキスト不要。</p>